

平成23年度

# 里 なび 研修会

多様な主体の参加と連携



里地里山は、人が自然に働きかけて生まれた空間です。そこで営まれてきた自然資源の利用形態は、生物多様性の保全と持続的な利用が両立する自然共生社会のモデルです。しかし近年、その里地里山の荒廃が進み、生態系が変化し、土砂災害や鳥獣被害にも繋がっています。

里地里山等の自然環境の保全再生を推進するためには、農林業者、地域コミュニティ、活動団体、企業、学校等の様々な主体の力を借りて、地域における人との自然の関係の再構築を進めていくことが必要です。そのためには、現場の視点にたち、地域ごとの経験から生まれた適正な管理のための知恵を活かして人づくりを進めるとともに、「人」と「情報」のネットワークを構築することで活動を活性化していく視点が重要です。

平成23年度の里なび研修会は、里地里山の利活用方策、多様な主体の参加促進と連携方策等について検討するとともに、保全活動における課題や技術的方策について検討し、情報発信等を行うことにより、活動の展開を図ることを目的として実施します。

平成23年度 全国10カ所で開催します。

（北海道、新潟県、栃木県、埼玉県、神奈川県、  
静岡県、石川県、奈良県、岡山県、沖縄県）

# 里なび研修会

～ 多様な主体の参加と連携 ～

## 参加方法

参加費無料、先着申込制です。

メール、FAXにて、

・参加日、開催地

・氏名(複数の場合全員分)

・ご所属(企業、団体名等)

・連絡先(代表者のメールかFAX)  
をお知らせ下さい。

## お申込み・お問合せ

里なび事務局(里地ネットワーク)

メール: h23@satonavi.go.jp

TEL: 03-5477-2678

FAX: 03-5477-2609



| 場 所         | 日 程                          | 内 容                                                                                                                                                                                    |
|-------------|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新潟県<br>南魚沼市 | 10月16日<br>(日)                | <b>【農山村における学びと保全を促進する交流スタイルの構築】</b><br>おいしいお米の産地として有名な清水集落は、様々な生き物が生息する昔懐かしい山里風景が広がります。山里と都市の交流から暮らしや生態系の不思議さを見つめなおし、生業と生き物の元気を取り戻す学習カリキュラムと保全活動計画について検討していきます。                        |
| 奈良県<br>桜井市  | 10月19日<br>(水)                | <b>【山野草と生き物の多様性を生み出す保全・活用ネットワーク作り】</b><br>野山に可憐に咲き誇る山野草は人の暮らしの中で育まれ、多くの生き物に恵みをもたらします。奈良の山里を舞台に、地元と外部の多様な主体との連携を構築し、継続的保護や環境教育、有機農業などの生業を再生する多様な活用を目指した保全計画を検討します。                      |
| 栃木県<br>宇都宮市 | 10月29日<br>(土)                | <b>【ふくろうの里づくりを始めよう 参加・交流・協働の計画を考える研修会】</b><br>農村生態系の頂点に位置するフクロウの生息環境は、餌となる小動物や巣になる樹洞のある大木の減少から危機的状況にあります。企業、団体、個人の協力の下で樹洞の代わりになる巣箱を設置する取り組みをについて学び、協働により里地里山の生物多様性を高める活動の拡大を図ります。      |
| 静岡県<br>静岡市  | 11月7日<br>(月)                 | <b>【里地里山の保全を流域で考える、企業連携の構想づくり】</b><br>県土の65%を占める森林は、水源涵養、土砂災害防止等の多面的機能がありますが、近年、森林には荒廃が見られます。一方、奥大井・南アルプス地域では、エコツーリズムに取組み、森林資源の活用による活性化を図っています。恵みの源である森林の保全を、流域住民と企業等が協働して取り組む方策を考えます。 |
| 北海道<br>栗山町  | 11月11日<br>(金)<br>～12日<br>(土) | <b>【ハサンバツの里山づくり20年計画に学ぶ ふるさとを担う人づくり】</b><br>栗山町には、オオムラサキをはじめ、鳥類、植物、サケマスなどの活動など生き物を中心とした活動や、廃校になった小学校の改修を行い都市と連携する交流活動を行うなど、さまざまな活動があります。これらの活動を活かし、生物多様性保全活動促進法に基づく地域計画を考える研修会を開催します。  |
| 石川県<br>珠洲市  | 11月23日<br>(水・祝)              | <b>【能登の里山里海を活かした地域づくりに向けて】</b><br>奥能登の良好な里地里山環境は、多様な動植物の恵みを生かす地元の人々によって受け継がれてきました。これら遺産を将来世代へ伝えるために、様々な人々との協働を促進し、地域資源の新たな活用策を提起し、保全活動へと展開する手立てをデザインしていきます。                            |
| 沖縄県<br>大宜味村 | 11月27日<br>(日)                | <b>【ツバキの里山を拠点とした保全型ツーリズムの構築】</b><br>かつて薪炭や用材を供給していた大宜味村の里山は、今人手が入らず、鬱蒼とした森に還っています。この森で自生ツバキ群生地の発見を契機に再生活動が行われています。ツバキやシシ垣といった資源を活かし、交流によって地域内外と連携するやんばるの新たな観光の形として、保全型ツーリズムの展開を考えます。   |
| 埼玉県<br>小川町  | 1月28日<br>(土)                 | <b>【地域住民と都市若者による山里で暮らす「未来」づくり】</b><br>小川町小瀬田は、里山の原風景の面影を残す一方、ゴルフ場開発跡地や手入れの行き届かない里山も広がっています。地域の農林業者のネットワークと共に、新規就農者や都市の若者など多様な主体が協働し、里山資源を活用した新たなライフスタイルを検討します。                         |
| 神奈川県<br>秦野市 | 2月9日<br>(木)                  | <b>【里山再生活動へのIT技術と地域協働の仕組みづくり】</b><br>日立製作所が里山に設けた「ITエコ実験村」は、保全整備を行いながら特殊なセンサーやカメラによる環境情報の収集や動植物の生態調査を行っています。実験村における最先端情報通信技術を生かした生物多様性保全の可能性を考えます。                                     |
| 岡山県<br>真庭市  | 2月16日<br>(木)                 | <b>【企業と自治体が連携した複合的な里山再生の仕組み作り】</b><br>岡山市に本社のある企業は、上流域の真庭市のバイオマスボイラーで発生する国内クレジットによりカーボンオフセットを実現しています。また地元観光連盟も里山保全のオフセットツアーを計画しています。真庭の里山を中心に流域の多様な主体で取り組む保全計画と仕組みを検討していきます。           |